

## 新任教員紹介

川本 康司

社会建設工学科助教(特命)

(H30.5.1付 赴任)



平成30年5月1日付で社会建設工学科助教(特命)として赴任いたしました。どうぞよろしくお願いたします。

私の出身地は広島県呉市で、今年7月の平成30年7月豪雨(西日本豪雨災害)では、親戚や知人宅が少なからず被害に遭いましたが、着実に復旧が進んでいるところであります。出身大学は、愛媛大学大学院理学研究科地球科学専攻で、その後、応用地質(株)に入社し、主に西日本を中心として各地を廻り、宇部市が8ヵ所目の赴任先になります。

これまで、地質学と土木工学を融合した応用地質学や土木地質学といった分野を専門とし、地すべり・斜面防災関連調査を主として、活断層やトンネルに係わる調査等々を行ってまいりました。

地すべり・斜面防災に係わる調査では、道路や公共施設、民家などと密接に係わる事案が多く、いかに迅速かつ的確に地すべりや斜面崩壊のメカニズムを把握するかが重要視されました。山口大学では、国道に近接する地すべりが研究フィールドとなります。この地すべりも地元住民にとっては、重要な生活道路に係わる事案であるため、これまで培ったノウハウを活かして研究を進めていきたいと思っております。

趣味は釣りと登山、それと時折、城址などの史跡巡りをしています。登山はなかなか時

間がとれず、年々山行回数が減ってきておりますが、山口には魅力的な山々が多くありますので楽しみにしております。また、宇部は瀬戸内海だけでなく日本海も近いこともあり、山口の自然を満喫したいと思います。

最後になりますが、私の専門が地質学ということもあり、工学部の皆様方の中では少々異色となりますが、多岐にわたる工学部の先生方と一緒にできる機会を得て大変感謝しております。この山口大学にて、多くの方々と意見・情報交換を行って自らの糧にしていきたいと考えております。不慣れな点も多く、皆様方にご迷惑をおかけすることが多々あるかとは思いますが、皆様のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願申し上げます。

神谷 知佳

社会建設工学科助教(特命)

(H30.5.1付 赴任)



平成30年5月1日付で社会建設工学科助教(特命)として赴任いたしました。出身は東京都台東区、お祭りが大好きな江戸っ子です。どうぞよろしくお願いたします。

大学は信州大学理学部地質科学科に入学し、地質学の基礎を学びました。松本市は山に囲まれた自然豊かな場所です。見える場所すべてがフィールドで、地質学を勉強するにはとてもいい環境でした。そのため週一で野外実習があり、毎週のようにルートマップや地質図を作成していました。今になって思えば、

あのときの知識が今のベースになっていると思います。

大学院は山形大学大学院理工学研究科地球環境学専攻へ進学し、火山学を専攻しました。鳥海山の1800年頃の溶岩を研究対象とし、火山地質図の作成や、溶岩、マグマの特徴や成分を解明・推定する研究をしていましたので、サンプリングのために山頂(2,236m)まで登りました。7,8kg背負って下山するのは大変でしたがいい思い出です。

大学卒業後は基礎地盤コンサルタンツ(株)へ就職し、砂防堰堤基礎の地質調査や、地すべり、斜面崩壊といった災害調査、トンネルやダム、地質調査や水文調査など様々な業務に携わってきました。中でも熊本地震や台風通過後の災害対応は時間的制約、物質的制約など制約条件がある中での作業でしたので、通常業務とは異なる大変さがあったのを今でも覚えています。

そして入社3年目、ご縁があって山口大学への出向のお話をいただき現在に至ります。大学での研究テーマは下関～長門山陰道に分布する地層に関わる道路法面等の安定に関する研究です。山口県の下関市～長門市～萩市にかけて安山岩質凝灰岩という地層が広く分布しています。県内で見られる安山岩質凝灰

岩の特徴は、過去の火山活動等により広域的に深く変質を受けている点です。したがって新鮮な岩石よりも強度がなく、切土工の途中もしくは完工後に崩壊してしまうことが多々あり、非常に厄介な地層として扱われてきました(道路沿いでスタイリッシュでない法面がちらほら見られるのはそのせいかも…?)。これから山陰道全線開通に向けて着手していく中で、事故や手戻りを減らす、もしくはリスクマネジメントをしていくということが安全面・経済面からも非常に重要になってきます。そこで、このやっかいな地層の特性を把握し、今後の設計施工等に役立つようなフローチャートや基準を設定しよう、というのが今回の研究目標です。

研究では客観的に評価していくために土質試験や物理試験にウェイトをおいているので、地質屋の私にとって、見るもの触れるものすべてが新鮮で、あれこれ模索しながら研究しております。不慣れなことも多く、すでに多くの先生方に大変お世話になっており、大変ありがたく思っております。これからも研究を通して、人間的にも技術的にも成長していきたいと思っておりますので、皆様のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

## 山口大学基金へのご寄付にご協力ください

お願い額：1口 5,000円 (複数口を希望)

お問い合わせ先

〒753-8511 山口県山口市吉田1677-1

「山口大学基金事務局」

TEL: 083-933-5622 FAX: 083-933-5624

E-mail: kikin@yamaguchi-u.ac.jp

